

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年02月06日

計画の名称	紋別港海岸堤防等老朽化対策緊急事業（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	紋別市												
計画の目標	紋別港渚滑地区護岸の背後には水産加工場及び民家が密集しており多くの人口資産等が集積している。既存護岸は昭和47年～55年に整備され約40年以上が経過しているため老朽化が著しい。 近年、大型化傾向にある台風、低気圧により、護岸から背後地への越波が発生している。そのため、老朽化対策と併せて護岸天端の嵩上げを行い、機能強化し災害防止を図る。 また、長寿命化計画策定により計画的な維持管理の推進を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	149	A	149	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	渚滑地区の護岸の老朽化対策および護岸嵩上げを行い、背後地を防護する。 渚滑地区の全体計画防護面積に占める防護済み面積により算出 (防護率の割合) = (防護済み面積) / (全体計画防護面積 5.6ha) (%)	0%	%	100%
2	海岸保全施設の機能を維持及び予防保全するための長寿命化計画を策定する。 紋別港海岸における長寿命化計画策定が必要な地区数に占める策定済み地区数により算出 (策定地区数) = (策定済み地区数) / (全体地区数 4地区海岸) (%)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-001	海岸	北海道	紋別市	直接	紋別市	老朽化	—	紋別港海岸堤防等老朽化 対策緊急事業	護岸 (改良) L=714m	紋別市	■	■	■	■	■	124		策定済	
	A09-002	海岸	北海道	紋別市	直接	紋別市	老朽化	—	紋別港海岸堤防等老朽化 対策緊急事業	長寿命化計画策定 (4地区)	紋別市	■	■				25		—	
												小計						149		
											合計						149			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	16	17	13	17	18
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	16	17	13	17	18
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	16	17	13	17	18
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 紋別港海岸堤防等老朽化対策緊急事業（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○